

はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災とその被害による福島第一原子力発電所の大事故は、これまでの私たちの生活や価値観を見直し、新たな生き方を問われることにも繋がりました。

今、世界は、すべてにおいて、新しい価値観と社会のあり方、生き方の転換を迫られています。

それを実現するには、まず一人ひとりが自分の課題について探る手立てをもつ場が必要です。

どんなに、書籍の電子化やITによる情報化が進んでも、それらをどう組み立てて使うのか、総合的に判断する際の指針を出せる図書館は、今後ますます必要とされることでしょう。

また、単なる情報だけでなく、人が集い繋がる場としての役割を果たす図書館は、これからの極めて重要な拠点となるはずです。

近隣市町も含めて、一人ひとりが新しい生き方を模索し、人の繋がりを作っていける場としての（仮）岐阜市立中央図書館となりますよう、提言をさせていただきます。

2011年8月22日

図書館の未来を考える会